

体育祭特別号!



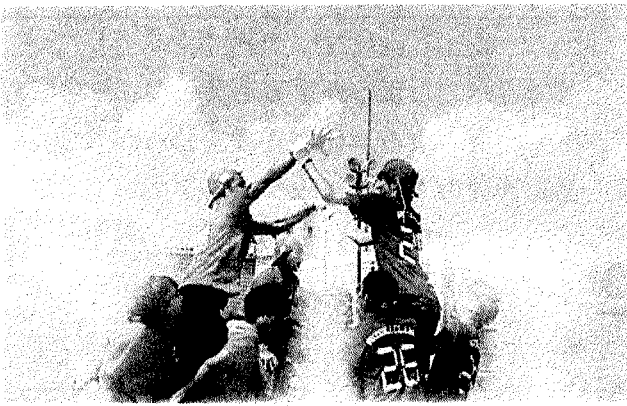
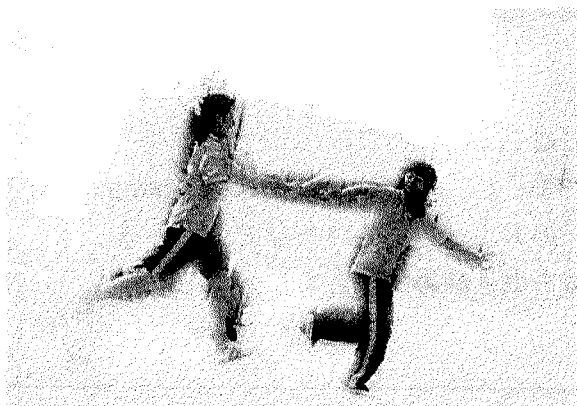
ずっと天気予報がはつきりせず応援団の人たちも毎日心配していたようですが、当日は皆の願いが通じたのか、前週の雨が嘘のように朝から突き抜けるような青空が広がって絶好の体育祭日和でした。むしろ暑いくらいだったのは気温のせいだけでなく、皆の熱気が凄かったからでしょう。リレーも綱引きも騎馬戦も、今まで見てきた体育祭とは迫力がまるで違い、圧倒されました。リレーでは、アンカーがゴールテープを切った瞬間に見せた笑顔が強く印象に残っています。全校生徒が全力で戦った体育祭は、プログラムを重ねることによってどんどん白熱して行き、文字通りやる気に満ち溢れている、という感じでした。今年の体育祭で見事に優勝を飾った黄団の活躍はまさに黄龍といったところでしたね。

どの競技も見ごたえがありました。やはり一番皆の目を引いたのは応援合戦でしょう。校長先生も仰っていました、

まさにどの団も甲乙付けがたい演技でした。見事に合わせた太鼓と踊りに、夏休み中も練習に時間を割いて積み上げてきた成果が存分に発揮されていました。彼らの表情からはこの演技にかけた思い入れとやる気が伝わって来ました。全校生徒に感動を与え、体育祭に更なる熱気を加えてくれた演技は、本当に素晴らしいです。演技が終わった後に達成感と嬉しさで涙を流している人も多く見られました。これこそまさに春日丘の誇るべき伝統だ、と感じました。来年も本当に楽しみです。

さて、体育祭は無事に成功しましたが、この成功は各部活の人たちや先生方、そして一人一人の努力の結果です。感謝の気持ちを忘れないことももちろんですが、自分自身にもお疲れさまでと言っておあげてくださいね。疲れた体をゆっくり休めましょう。

(缶・クワトロ)



国際地理オリンピック

京都大会

七月三十日から八月五日まで、世界の高校生が地理の知識を競い合う、『国際地理オリンピック』が京都で行われた。その中で新聞部員がボランティアとして参加した。七月三十一日と八月一日の巡検とフィールドワークテストについて特集する。

まず巡検では、選手たちが止まっているホテルの周辺を巡った。今回ボランティアを担当した班では、まず琵琶湖疏水記念博物館を訪れた。琵琶湖疏水とは、明治維新の際に当時のエ

ネルギー資源であった水を琵琶湖から京都まで引き込んだ出来事である。博物館には、疏水の際使われた鋤やトンネルを掘るために使用されたと思われる導火線、ダイナマイト使用心得なども展示されていた。その周辺には当時からある水路が流れており、選手たちにはそれにちなんで、「上り道になっている水路を、どのようにして船を進めたのか。」という問題が出された。

翌日のフィールドワークテスト

では、話し合いが禁止され、選手一人一人が与えられた問題に取り組んだ。伏見で行われたフィールドワークテストは、まず三栖閘門で活動が行われた。三栖閘門は、淀川舟運のため、淀川へとつながる宇治川と濠川間を船が通航できるように、その二川の合流点に建設されたものである。次に三栖橋で活動が行われた。ここでは川沿いの土地の用途に関する問題が出題された。三栖橋付近には自然が多く、川を眺めながら地形図を書いたり、中には歩幅で距離を測っている選手もいた。

最後に、月桂冠大倉記念館の周辺での活動が行われた。伏見の地下水は良質で、昔からこの適度のミネラルを含んだ水から、伏見の清酒を育ててきたそうだ。また冬の厳しい風上と、経済的発展、さらに現代の科学の力が合わさり日々良質なお酒が作り出されている。ここでも「水」に関する問題が出されたようである。選手たちは展示品を熱心に眺めていた。

その後、お好み焼き屋で昼食をとった。お好み焼きを初めて口にした選手たちは「オイシイ！」と絶賛していた。その後行った神社では、選手たちも参拝するなど日本文化を満喫していた。

昼食の際選手たちにインタビューを行った。

Q：日本の第一印象は？

A：「国も、人もとても素敵です。食事もおいしいです。でも意外に雨が多くて驚きました。」

「暑い、湿気が多い、じめじめしてる。」

Q：日本に来て驚いたことは？

A：『右側通行』と『左側通行』があったことです。「水が無料で飲めることです。」

「最初に出されたお冷を見て、「無料なんですか？」と聞いている人がいた。海外では水といえば店で買うミネラルウォーターであり、水道水も日本のように、飲めるほどきれいではないので、注文していないのに水が出されて驚いたようだ。」

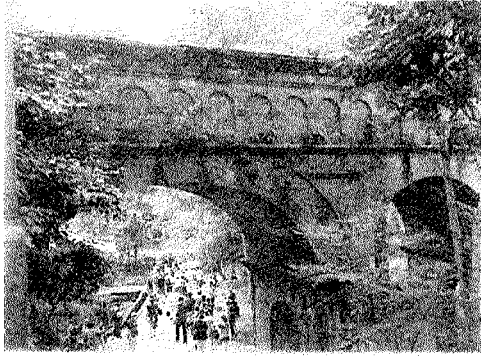
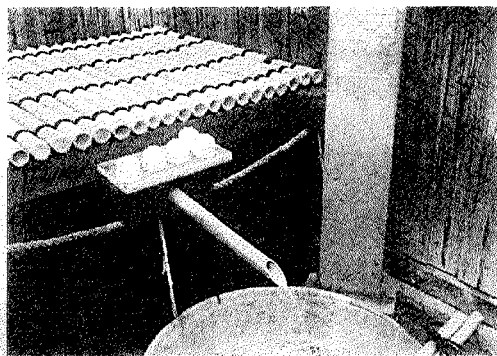
右の「日本に来て驚いたことは？」という質問に、すぐに食べていたお好み焼きを指して「this」と言ってくれた。「sweet」という言葉も聞かされた。日本独自の『粉もん』はどの国の人にもウケがいいようだ。また台湾の選手によると台湾でもクールジャパン

の文化は人気であることが分かった。

期間中は、ずっと自分の英語力のなさを痛感させられた。自分の話す英語はある程度聞き取ってもらえたが、相手の話す英語が速くてほとんど聞き取ることが出来ず、まともに会話することが出来なかった。そのためインタビュ―は非常に苦労した。

世界各国から様々な人々が来ているということもあり、いろいろな面白い光景も見られた。日本の文化に慣れていないせいで、駅の改札を通る時に切符を取り忘れていた人もいた。また、熱中症対策にと選手に冷えピタが配布されたのだが、外国には冷えピタがないらしく、皆貼り方がわからずに困惑していた。貼り方を教えてあげると、やはり暑い日の冷えピタは外国の人にも気持ちいいらしく、満足した顔をしていた。

今回のボランティアに参加したことで、自分の英語がどれだけ拙いものか思い知った。また異文化と触れ合うことで日本の文化の特殊な面を知ることができた。もしこのように海外の人たちと触れ合える機会があればぜひ行ってみたい。



編集後記

充実した夏休みを過ごすことはできたでしょうか？夏も終わり、ちらほらと秋を感じられるようになりました。気温の高低差が激しい日々が続いています。風邪をひかないよう、体調管理をしっかりとって元気に過ごしてください。

さて、このたび新聞部では、部長管理の下でツイッターのアカウントを作成しました。IDは【@KNC_kasugaoka】です。行事予定、活動報告等々発信していこうと思っているので、ツイッターユーザーの方はぜひフォローしてください。

文化祭も終わり、今年度も残すところあと半分となりました。緩むことなく気を引き締めていきましょう！

(流音)

(流音・クワトロ)